学校番号	３１６

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新数学Ａ　（東京書籍）						
副教材等	ニューファースト　改訂　新数学Ａ　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、解決方法を導いていけるよう、発問等を行ないます。
・“できる”ようになることを目標に、公式や解法について教えていきます。
・教科書や問題集などで、毎時間問題演習を行ない、定着を図ります。
・家庭学習における課題（日々の宿題や定期考査前の対策プリント等）の提出をしてもらいます。
・課題は提出日に注意し、一生懸命取り組んでください。

2　学習の到達目標

場合の数、確率、整数の性質、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらの知識や技能を的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学の論理や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト ワークシート プリント演習 観察等	確認テスト 定期考査 ワークシート プリント演習 観察等	確認テスト 定期考査 プリント演習 観察等	確認テスト プリント演習 定期考査 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	場合の数	集合	○	○	○	○	a:集合の考え方、順列や組合せの考えに関心を持ち具体的な場面で活用しようとする。 b:規則性を見つけて個数を数え上げる方法を考察することができる c:樹形図、和の法則・積の法則を活用できる。順列・組合せを用いた表現・処理ができる。 d:集合、順列・組合せの意味や記号について理解している。	確認テスト 定期考査 ワークシート プリント演習 観察等
		順列･組合せ	○		○	○		
	確率	確率の意味･計算	○			○	a:事象の起こりやすさを１つの数で表すことに関心をもっているか。 d:試行や事象、確率の意味を理解している。	確認テスト 定期考査 ワークシート プリント演習 観察等
2学期	確率	独立な試行･反復試行･条件つき確率	○	○	○	○	a:事象の起こりやすさを１つの数で表すことに関心をもっているか。 b:加法定理、余事象・独立な志向･反復試行の考え方を理解しようとする。 c: 加法定理、余事象・独立な志向･反復試行の確率を求めることができる。 d:試行や事象、確率の意味を理解している。	確認テスト 定期考査 ワークシート プリント演習 観察等
	図形の性質	三角形の性質	○	○	○	○	a:三角形の角や三心について関心をもち、調べてみようとする。 b:三角形の内角や外角の二等分線の性質、三角形に三心の性質理解しようとする。 c: 三角形の角や三心の性質を使って角や線分の長さを計算することができる。 d:線分の内分･外分三角形の内角・外角、三心の性質を理解している。	確認テスト 定期考査 ワークシート プリント演習 観察等

3学期	図形の性質	円の性質	○	○	○	○	a: 円に内接する四角形、円とその接線の関係に関心もつ。 b: 円に内接する四角形、円とその接線の関係を考察しようとする。 c: 円に内接する四角形、円とその接線の関係、方べきの定理を使って、角や線分の長さを求めることができる。 d: 円に内接する四角形、円とその接線の関係、方べきの定理を理解している。	確認テスト 定期考査 ワークシート プリント演習 観察等
	整数の性質	倍数･約数 素因数分解 最大公約数･最小公倍数	○	○	○	○	a:倍数・約数、素因数分解に関心をもち調べてみようとする。 b:倍数や約数の性質を導く家庭を考察することができる。 c:約数・倍数が求められる。素因数分解ができる。最大公約数･最小公倍数を求めることができる。 d: 倍数･約数、素因数分解、最大公約数･最小公倍数最大公約数･最小公倍数についてりかいしている。	確認テスト 定期考査 ワークシート プリント演習 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。